



みどりのきずな

平成 29 年 1 月 1 日発行 第 30 号

編集: 緑区支え合いのまち推進協議会広報部会 発行: 緑区支え合いのまち推進協議会事務局 緑保健福祉センター内

TEL:043(292)8142 FAX:043(292)8276

緑区支え合いのまち推進計画

誉田地区の重点目標

—身近な生活支援活動の様子—

委員長 岡本 博幸

第 3 期緑区地域福祉計画（平成 27 年度～29 年度）誉田地区の重点目標は、「地域における助け合い活動」の推進です。

まず誉田地区の概要ですが、人口 28,434 人、世帯数は 12,574 世帯、町内自治会数は 31 です。高齢化率は 27.2%で、緑区内で高齢化率が一番高い地域です。（平成 28 年 3 月末）※

誉田地区部会では、28 年度から町内自治会等に見守り活動の設立をサポートするための委員会を組織してきました。町内自治会活動として見守り活動を進めていくところが増えてきているからです。今回は、現在見守り活動を推進している町内自治会の中から 2 つの事例をご紹介します。

① 鎌取町内会「みまもーる」

（平成 26 年 2 月活動開始）

- 1 目的 高齢者の孤立化・孤立死の防止。地域における助け合い意識の醸成と推進。
- 2 経緯 アンケートを実施し、見守りを希望する方 19 人、ボランティア 19 人を募った。
- 3 体制 2～3 人のグループでまわっている。
- 4 見守り方法 外部からさりげない見守りと訪問活動。具体的には郵便受け、洗濯物、雨戸の開閉状況等の確認。
- 5 留意すべき事項 2 か月に 1 回程度ボランティアの活動報告と情報交換を行っている。民生委員やあんしんケアセンター、社協職員も参加している。

② 辺田町内会

（平成 28 年 4 月活動開始）

- 1 目的 高齢者の孤立化・孤立死の防止。地域における助け合い意識の醸成と推進。
- 2 経緯 アンケートを実施し、見守りを希望する方で独居高齢者 6 人、ボランティア 17 人を募った。
- 3 見守り方法 外部からさりげない見守り。具体的には郵便受け、洗濯物、雨戸の開閉状況等の確認。
- 4 留意すべき事項 4 か月に 1 回ボランティアの活動報告と情報交換を行っている。民生委員やあんしんケアセンター、社協職員も参加している。

誉田地区では、上記 2 町内自治会以外にも活動が広がっていています。今後さらに見守り活動の組織が増えていく事を期待しています。

地域において、見守り活動が大事だということは、住民誰もが認識しているところです。しかし、組織として共に推進するまでにはまだ十分意識が高まっているとは言えません。このことは、土気地区・おゆみ野地区・椎名地区も同じ状況です。「向こう三軒両隣」のあたたかい雰囲気の中で新しい人間関係の絆社会を構築していきたいと考えています。



見守り活動についてのご相談は、
千葉市社会福祉協議会までご連絡ください。

TEL 043-292-8185

椎名地区

地域でお宝を育てています

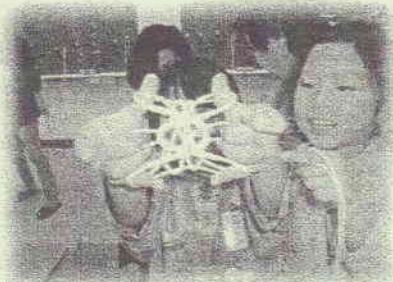
しいのみ祭

～地域の方々から学ぼう～



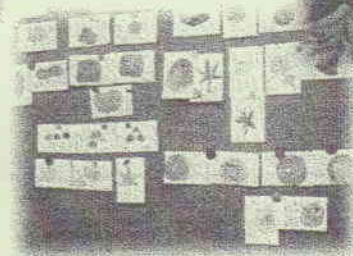
平成 28 年 11 月 19 日 (土)
千葉市立椎名小学校

学校ではなかなか学べない、ものづくり、「伝承遊び」を通じて地域住民とのふれあいを大切にしています。



あやとりあそび

ワラ細工
正月飾り



絵手紙で感謝を

誉田地区

誉田中学校 思春期教室

平成 28 年 11 月 4 日 (金) 誉田中学校 (山岸彰校長) において 3 年生の思春期教室が行われました。この授業は乳幼児とのふれあいによる父性・母性の涵養、生命の尊厳や性に関する教育を目的に実施しています。当日は P T A や民生委員も加わり 3 年生 165 名が学びました。内容としては①妊婦体験②赤ちゃん抱っこ体験③父親母親体験談です。妊婦体験は 8 kg ある妊婦ジャケットを装着し、妊婦の体の重さや体を動かすだけでも大変なことを体験しました。特に男子は妊娠することがないので、是非体験してほしいと先生から声を掛けられていました。最初は照れてふざけていた生徒も徐々に妊婦の大変さに気づきだし身近に妊婦がいた時には気にかけるようにしようといった発言もありました。またお腹にいる時の赤ちゃんの心音が聞ける装置も用意されており、命の重さや命を育む学習を通して、自分たちも赤ちゃんの頃があり、こんなに大事に育てられてきたのだと身をもって感じられる教室でした。



お腹の重みを感じています



抱っこって意外と難しい



赤ちゃんの心臓の音！！

土気地区

第10回 昭和の森ウォークラリー

11月23日勤労感謝の日、千葉市昭和の森公園で、第10回昭和の森ウォークラリーを土気地区スポーツ振興会、土気地区町内自治会連絡協議会との共催で開催しました。

曇り空で肌寒い日でしたが、参加者、スタッフ、ボランティアなど200名を超える人数が集まりました。スタート地点には社協のマスコットキャラクター「ハーティちゃん」も駆けつけてくれ、子ども達の人気を集めていました。

小学生のグループ、家族でのグループ、高齢者のグループなど、幼い子供から幅広い参加者があり、地域住民が楽しいひと時を過ごす中で交流を広めるといった目的を達成できたと思います。ポイントは5つあり、それぞれのポイントでは大声大会・サイコロゲーム・ダーツ・どんぐりつまみなど実際に体を使う活動とクイズを解くという頭を使う活動を行いました。

最後は、全員がグラウンドゴルフに挑戦してからゴールしました。グループ同士が出会ったときは声を掛け合い、交流を深めました。ゴールの後は、食事ボランティアが調理した温かい豚汁が振る舞われました。



おゆみ野地区

おゆみ野文化祭2016

11月19日・20日、『おゆみ野文化祭2016』がアートタウンおゆみ野主催で、鎌取コミュニティセンターとその周辺&イオンスタイル鎌取4階イベントスペースで開催されました。

この文化祭は、いろいろなジャンルの音楽の発表や様々な芸術作品の展示、また地域で活動している団体の発表やワークショップ等、たくさんの方が盛り上げています。

今年はイオンスタイル鎌取での展示やワークショップ、遊歩道でのフリーマーケット。またコミュニティセンターロビーを使ってマルシェ風の手作り市、『アート実験工房』と銘打った企画など、新しい取組みで、初日の冷たい雨にも関わらず、両日とも多くの方々が訪れ、楽しみました。



要支援認定された方向けの「介護予防訪問介護（ホームヘルプ）」と「介護予防通所介護（デイサービス）」が平成29年4月より、千葉市の独自事業「介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）」に移行します。

総合事業は、地域の支え合いの体制作りを推進し、実情に応じた多様なサービスを充実させていく仕組みとなっています。

これは私たちの「支え合いのまちづくり」と共通する考えです。

今後、更に「人とのつながり」を大切にし、安心して暮らせる社会を目指していきます。

(1) 対象者：

- ①平成29年4月以降、新規に要支援1・2の認定を受けた方
- ②現在、要支援・要介護の認定を受けている方で、平成29年4月以降の更新時、要支援1・2の認定がされた方（認定されるまでは従来の介護サービスが受けられます）

(2) 変更点：

【現行】

【平成29年4月～】

介護予防 訪問介護
(ホームヘルプ)



従来	訪問介護相当サービス・・・主に身体介護
新規	生活援助型訪問サービス・・・掃除、洗濯等の生活援助
新規	地域支えあい型訪問支援・・・買物、ゴミだし等の生活援助

介護予防 通所介護
(デイサービス)



従来	通所介護相当サービス・・・機能訓練、入浴等
新規	ミニデイ型通所サービス・・・介護予防の体操等
新規	地域支えあい型通所支援・・・体操教室、サロン等
新規	短期リハビリ型通所サービス・・・原則3か月間の理学療法士等による専門職の指導 (平成29年7月開始予定)



尚、サービスに関してご不明な点は、千葉市介護保険課、あんしんケアセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先：千葉市介護保険課	Tel 245-5068
千葉市あんしんケアセンター鎌取	Tel 293-6911
千葉市あんしんケアセンター誉田	Tel 300-4855
千葉市あんしんケアセンター土気	Tel 295-0110

編集後記 みどりのきずなを読んでの感想をお寄せください。待ってまーす。(t.t)